

委員会報告

2011～2012年度

No.1

第 3 回

委員会名

IT

委員長名

L 近藤 正彦

開催日時	2011年 9月 16日 月曜日 15時 15分 ～ 17時 30分					
開催場所	330Aキャビネット事務局 大会議室					
出席者	×	大石地区ガバナー	×	阿久津第1副地区ガバナー	×	鈴木第2副地区ガバナー
	○	L 近藤正彦 委員長	○	L 佐原幸雄 副委員長	○	L 矢田部 満 副委員長
	○	L 赤尾嘉晃 副委員長	○	L 荻野桂一 副委員長	○	L 原田純子 副委員長
	○	L 木下 知紀 委員	○	L 峰村 篤 委員	○	L 佐藤 泰治 委員
	○	L 壮 英隆 委員	○	L 藤村 貞夫 委員	○	L 木村 淳一委員
出席オブザーバー						
×	L 神長 (オブザーバー)	×	担当 L 清水 副幹事			
次 第	司会・矢田部 L 進行・佐原 L					
	1	委員長挨拶				
	2	前回議事録確認 HPに掲載済み				
	3	佐藤 泰治L 初参加の挨拶。				
	4	協議・審議 別紙議題による				
	5	今後の日程(事務局15時15分～)確認。11月8日、12月16日、1月6日、2月10日、3月7日、4月26日				
	6	次回開催確認 10月21日金曜 15時45分～ 330A:事務局 委員会後懇親会開催予定				
議 題	協議・審議経過事項の概要					
	1	ITセミナー開催について				
	2	10月16日開催の薬物乱用防止大会の協力について				
	3	赤尾L提案の被災地自治体復興支援HP一覧の掲載について				
	4	今期地区HPの震災特集ページ記載について				
	5	各委員会よりの依頼事項について				
	6	地区ニュース(PDF版)の掲載について(含むバックナンバー)				
	7	その他				
	8	閉会				
次回開催日時 場所	2011年10月 21 日 金曜日 15時 45分 ～ 17時 30分					
	330A 事務局 会議室(大)					

作成者

L 赤尾 嘉晃

議 題	審議経過事項の概要
1	<p>地区役員の出欠や幹事団がサバンナを積極的に利用しておらず様々な質問に対応できていない。</p> <p>→幹事団向けのサバンナセミナーを9月、10月あたりに開催予定となった。</p> <p>クラブHPを持っていない向けに、国際本部のサーバーで作成可能なことを告知していくことに。</p> <p>→国際本部HP「Eクラブハウス」で検索。次回委員会で藤村LがHP作成のデモ予定。</p> <p>現状のITについて(フェイスブック、ツイッター)のセミナー</p> <p>→10月16日以降に開催予定。</p> <p>国際本部アクティビティアワードビリーバー賞へのエントリー促進について(セミナー開催)</p> <p>→12年5月1日締め切り、100万本植樹アクティビティ、クラブHP作成と同時開催の方向となった。</p>
2	<p>13時～16時日比谷公会堂で開催。参加者は児童1000名、LCメンバー関係者1000名</p> <p>本日の委員長会で本委員会への要請事項が明確になる。後日メール配信。</p> <p>告知(HPに特別なバナー作成済み)と報告(当日参加者目線で赤尾Lが作成)を担当。</p> <p>PR情報委員会も取材を行う。</p>
3	<p>被災地自治体「復興・支援」状況HP一覧作成の経緯が赤尾Lから説明がなされた。</p> <p>今期の震災特集とリンクして掲載していく方向。震災担当神長Lと協議していく。</p>
4	<p>今期の震災特集としてバナーの作成をする。3)の自治体復興HP一覧と同時に</p> <p>被災地支援の「産直販売HP」地元農協や商工会議所で調査作成へ。</p> <p>各委員から、訪問した被災地状況やクラブ活動報告がなされた。</p>
5	<p>家族会員女性参加委員会・小川晶子委員長よりHPバナー作成の依頼あり。</p> <p>→担当として木下Lが任命された。</p> <p>原田L: 女性会員の現状、活動実態の調査把握が必要とのコメントがあった。</p> <p>会員増強委員会・橋口委員長からバナー作成の要請あり。皆で委員会ページを確認した。</p> <p>HPでの告知、バナー作成等、打診のある委員会は以下、薬物乱用、国際大会参加。</p>
6	<p>本年5回配信予定。</p> <p>PDF版をパッドなどの新しい機材の「ページめくり機能等」を検討していくことになった。</p>
7	<p>・HP英語版作成について</p> <p>予算確保(近藤委員長担当)と内容についての以下の意見交換がなされた。アクティビティ中心の写真掲載とヘッドライン作成が理解されやすく、日本地区の文化としてアクティビティを世界に配信していく方向性が大切である。また、JPDメンでは国際的な検索上位にはならない現状が木下Lから説明された。日本にいる外国人への発信という目線や国際協会への積極的プロモーション方法など全ては英語翻訳できなの、英語版作成の目的について一層の協議が必要であることが確認された。</p> <p>英語版作成についてはLC用語など考慮してウエストLCのヤオイLにお願いする可能性が大きい。</p>
8	<p>閉会 荻野副委員長:それぞれの役割が明確になってきました。実務をこなしていきましょう。</p> <p>以上。</p>